

プロテイン・アイランド・松山 国際シンポジウム2014

Protein Island Matsuyama(PIM) International Symposium 2014

◆ 2014開催報告

平成26年9月15日(月・祝)、17日(水)の2日間、『プロテイン・アイランド・松山 国際シンポジウム2014』を開催しました。またビジネス展開への試みとして、平成26年10月15日(水)～17日(金)の3日間、『BioJapan 2014』に出展しました。平成26年11月4日(火)～6日(木)には、企業研究者向けの「膜タンパク質合成講習会」を開催しました。

一般向け体験セミナー

約70名の“未来の科学者”は、遠藤弥重太教授が開発した「無細胞タンパク質合成技術」を使用したキットによって、実際に遺伝子からタンパク質を合成する実験や、ブロッコリーからDNAを取り出す実験にチャレンジしました。未来のノーベル賞科学者の誕生を期待しています。



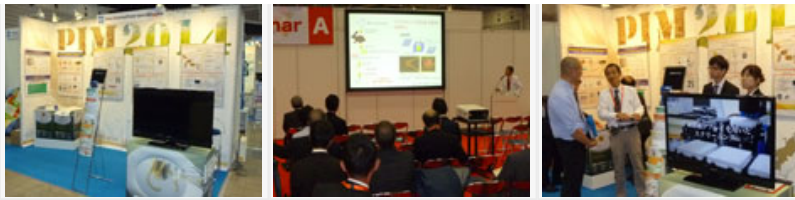
第12回松山国際学術シンポジウム

愛媛大学の遠藤弥重太特別名誉教授を筆頭に、タンパク質の中でもこれまで研究が困難とされていた「膜タンパク質」の機能や細胞レベルでの役割、さらには感染症やがんにおける意義に焦点を当て、新進気鋭の研究者の方々に講演をいただき、世界最前線の研究が松山から発信されました。その後、若手研究者を中心としたポスター発表や協賛企業によるブース展示も行われ、活発な意見交換がされました。また、今回からシンポジウム前日に、「PIM若手の会」を開催し、研究会・交流会を通じ若手研究者間の親睦を深めました。



「BioJapan2014」への出展

愛媛大学で開発された「無細胞タンパク質合成技術」を基盤とする研究成果を国内外の医療・健康分野等の企業に広く紹介し、愛媛大学とのマッチングを促進させるため、バイオビジネスにおけるアジア最大級のパートナーリングイベントである「BioJapan 2014」に出展しました。展示ブースには、製薬企業をはじめとして多くの方にご来場いただき、愛媛大学発の技術にふれていただくことができました。また、プレゼンテーションでは愛媛大学プロテオサイエンスセンター竹田浩之助教が、コムギ無細胞タンパク質合成技術による膜タンパク質合成とその応用について講演し、聴講者は熱心に耳を傾けていました。



膜タンパク質合成講習会

この企業研究者を対象とした本講習会は、プロテイン・アイランド・松山の産業界向け取り組みとして本年度から初めて実施されました。製薬会社など12社から合計17名の企業研究者が参加し、実習や講義、施設見学などを通して、愛媛大学で近年開発された「膜タンパク質無細胞合成技術」をいち早く体験・習得していただきました。また愛媛県内の企業3社の視察も実施し、異業種交流の機会を設けました。今後、参加企業からこの合成技術を活用した新しい事業展開が期待されます。



プロテイン・アイランド・松山 国際シンポジウム2014にご参加頂き、ありがとうございました。

今後も、松山から世界に向けたタンパク質研究に関する最新の情報発信や、研究拠点としてのアピールを行うとともに、社会への応用展開の機会創出、また学生をはじめ市民の方に研究の面白さを伝える体験の場の提供など、より多くの方への理解啓発を行うことで、タンパク質研究の拠点である「Protein Island Matsuyama; PIM」の実現を目指して参ります。

◆ プログラム

一般向け体験セミナー

開催日:平成26年9月15日(月・祝) 13:00~16:30

会場:松山市総合コミュニティセンター 3階 大会議室

時間	内容	所要時間	詳細
13:00	開会	10分	愛媛大学長・松山市長 (予定)
13:10	講演1 ・ 実験1	40分	講演1:タンパク質を組み立てる 実験1:試験管の中でタンパク質を作ろう! 林 秀則 (愛媛大学 プロテオサイエンスセンター 教授)
13:50	休憩	10分	
14:00	講演2	30分	講演2:タンパク質はマラリアを無くす切り札 坪井 敬文 (愛媛大学 プロテオサイエンスセンター長、教授)
14:30	休憩	10分	
14:40	実験2 解説	50分	実験2:ブロッコリーからDNAを取り出そう! 解説:実験1の解説 林 秀則 (愛媛大学 プロテオサイエンスセンター 教授)
15:30	休憩	10分	
15:40	講演3	30分	講演3:私は何者でしょう?生き物って? —神秘的な生命の原理を探ってみよう— 遠藤 弥重太 (愛媛大学 先端研究・学術推進機構 特別栄誉教授)
16:10	質疑 応答	20分	
16:30	閉会		

第12回 松山国際学術シンポジウム タイムスケジュール

開催日:平成26年9月17日(水) 9:30~18:30

会場:愛媛大学 南加記念ホール(講演),

法文学部講義棟 1階(企業ブース・ポスター発表)

時間	内容
9:00 - 9:30	受付
9:30 - 9:45	挨拶
9:45 - 10:00	坪井 敬文 (愛媛大学) Opening Remarks
10:00 - 10:40	遠藤 弥重太 (愛媛大学, カリフォルニア大学サンタクルーズ校, アメリカ) Excellence of the wheat cell-free system, and challenge to develop a method for the other difficult ones, protein-nucleic acid complexes
10:40 - 11:00	休憩
11:00 - 11:40	小林 久隆 (米国国立がん研究所, アメリカ) Photoimmunotherapy; Basis, applications and beyond
11:40 - 12:20	カール ブローベル (コーネル大学外科特別病院, アメリカ) iRhoms1 and 2 are essential upstream regulators of ADAM17-dependent EGFR signaling
12:20 - 13:50	昼食
13:50 - 14:30	野澤 彰 (愛媛大学) Cell-free system for functional analysis of membrane transporters
14:30 - 15:10	青木 淳賢 (東北大学) A novel method to detect GPCR activation, TGF α shedding assay: its principle and application.
15:10 - 15:40	休憩
15:40 - 16:20	竹田 浩之 (愛媛大学) Cell-free synthesized GPCR proteoliposome, an effective research tool for biochemical analysis and antibody production of GPCR
16:20 - 17:00	清水 博之 (国立感染症研究所) Structural and functional basis of the interaction between enterovirus 71 and a cellular receptor, PSGL-1
17:00 - 17:10	坪井 敬文 (愛媛大学) Closing Remarks
17:10 - 17:20	プレゼンテーション(法文学部講義棟1階) 株式会社パーキンエルマージャパン 株式会社セルフフリーサイエンス
17:20 - 18:30	ポスターセッション(法文学部講義棟1階)
18:30 - 20:30	懇親会(校友会館1階 レストラン セ・トリアン)

◆ 組織一覧

主催	愛媛大学, 愛媛県, 松山市, 松山商工会議所, 愛媛経済同友会
協賛	株式会社セルフフリーサイエンス, 株式会社パーキンエルマージャパン, 大塚製薬株式会社
運営体	プロテイン・アイランド・松山(PIM)国際シンポジウム実行委員会
後援	愛媛県中小企業団体中央会, 愛媛県中小企業家同友会 公益財団法人えひめ産業振興財団 公益財団法人松山観光コンベンション協会 NHK松山放送局, 株式会社愛媛新聞社 公益社団法人日本生化学会, 公益社団法人日本化学会 公益社団法人日本農芸化学会 愛媛県教育委員会, 松山市教育委員会



主催: 愛媛大学・愛媛県・松山市・松山商工会議所・愛媛経済同友会
運営体: プロテイン・アイランド・松山 国際シンポジウム実行委員会

Copyright (C) 2014 PIMISOC All Rights Reserved.